



なおす・代用・合体・融合・連置・還流 [仙台市荒浜で回収した欠片/クローゼットほか] 2012
青野文昭



「Where is our whereabouts?」 2015
小林雅子

■ギャラリーオープン記念展■

●シリーズ企画「もうひとつの扉」VOL.1

青野文昭×小林雅子展 「記憶の裂け目」

2019.7.27(Sat) ~ 9.1(Sun)

■ 11:00 ~ 19:00 (最終日は 17:00 まで) 月・火曜日休廊
軽食とソフトドリンクもお楽しみいただけます。



artspace
&
café

2658 Tori 2-chome, Ashikaga-shi, Tochigi 326-0814, Japan E-Mail : info@artspace-and-cafe.com

2019年7月、歴史の町で知られる栃木県足利市に、カフェを併設したギャラリー「artspace & café」をオープンいたします。そのオープン記念展として、青野文昭と小林雅子による企画展「記憶の裂け目」を開催します。

二人はそれぞれ、モノや人の記憶が大もととなった作品をつくり続けてきました。青野文昭は、山中、海岸、街なかなどに捨てられていた家具や看板、さらには自動車や船舶の断片などを、「修復」をテーマとして、壊れて欠けた部分を造形的な材料や手法で補い再生させて制作を行っています。小林雅子は、かつて自分が身に付けていたかもしれない、記憶の中の衣服や身のまわりのモノを、油紙を素材にほぼ原寸で表した立体作品や、既成の本をもとに造形化したブック・オブジェなどを制作しています。

こうしてつくられる二人の作品は、どの人の心にも隠されている記憶の裂け目のようなものといえます。私たちはそこに深く接することで、二人の制作の源となった記憶に触発され、自分自身の意識の奥底にある様々な記憶を呼び起こされるでしょう。



青野文昭 ①「なおす・代用・合体・連置 バイロンの復元 2017-4」2017年
②「なおす・合体・侵入 2005-5」2005年
③「なおす・延長・器 2004-3」2004年

小林雅子 ④「Lolita」2019年
⑤「物語は始まり、そして終わる」2017年
⑥「柔らかな記憶」2018年



青野文昭 Fumiaki Aono

1968年宮城県生まれ、宮城教育大学大学院美術教育科修了。在学中から「修復」という概念を作品に取り入れ、捨てられた物を取拾して、その欠損部分を修復することで彫刻作品を制作している。近年の主な展覧会に「あいちトリエンナーレ 2013—揺れる大地—」（愛知県名古屋市ほか、2013年）「青野文昭 個展」(gallery TURNAROUND、2016年)、「コンバージョン_ピース ここからむこうへ part A 青野文昭展」(武蔵野市立吉祥寺美術館、2017年)、「六本木クロッシング 2019」(森美術館、2019年)ほか。2015年、第26回タカシマヤ美術賞を受賞。宮城県在住。



小林雅子 Masako Kobayashi

1971年長野県生まれ。多摩美術大学彫刻科卒業、沖縄県立芸術大学大学院彫刻科修了。初期は、子どもの頃の思い出に残るものを金属の立体作品として制作。その後、自身の衣服やぬいぐるみをはじめとして、かつて身に付けていたものや、記憶の中の様々なものを、油紙を素材に原寸でかたどった立体作品や、これらで空間を構成するインスタレーション作品を展開。また、近年は愛読していた本をもとにしたブックアート作品も制作。各作品は、国内各地のギャラリーや芸術祭などのほか、パリ、ベルリン、ロンドン等国外でも発表。東京都在住。

■アクセス■

- ・東武伊勢崎線足利市駅徒歩12分・JR両毛線足利駅徒歩8分
- ・北関東自動車道足利ICより15分（駐車場3台あり）



artspace & café

〒326-0814 栃木県足利市通2丁目 2658

Tel : 0284-82-9172

E-Mail : info@artspace-and-cafe.com

